



## 校長室だより

月立小学校 校長 村上克弥  
令和3年1月28日  
☎55-2260 第8号

### 教育目標

ふるさとに誇りをもち  
夢と希望に満ちた  
心豊かでたくましい児童の育成



## 「3学期始業式にあたって」

新年明けましておめでとうございます。今年は、コロナ禍ということでどの地区でも新年会等は縮小あるいは中止ということで例年にはないお正月を迎えたことと思います。

さて、3学期の始業式に子供たちに話したことを紹介いたします。

新しい年、令和3年を迎えて最初のあいさつです。お正月のあいさつをしましょう。「あけましておめでとうございます。」

いよいよ今日から3学期が始まりました。ここに居る皆さんが、元気に登校できたことをお互いに喜び合いたいと思います。皆さんの元気な顔を見て、校長先生もとても安心しました。

13日間の冬休みでした。家族みんなで楽しく過ごすことができたのではないかと思います。

今年は丑(うし)年なので、少し丑年のことを話したいと思います。

昔、神様が元旦に挨拶に来た12番目までの動物を順番に、「一年間その年のリーダーにしよう」と、いうおふれを出します。

そこで牛は、自分が歩くのが遅いことを知っていたので誰よりも早く、前の晩のまだ暗いうちに出発するのですが、牛の背中に乗ってやってきたねずみが神様の御殿の門が開いたとたんに飛び降り1番に。残念ながら牛は2番となり、干支(えと)の順番は2番目になりました。

十二支の動物の中で最も動きが緩慢で歩みの遅い丑(うし)の年は、先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年とされています。

十二支の2番目の干支であることから、子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされ、まだ結果を求める時期ではなく、結果につながる道をこつこつと作っていく基礎を積み上げていく時期とされます。

丑の年は、黙々と目の前の自分の仕事をこなすことが将来の成功につながる、と考えるとよいようです。

丑のように今年は、こつこつと努力し自分の目標を達成し、成長できる一年であってほしいと思います。

さて、3学期は、学期の中で一番短い学期です。また、学年の締めくくりと次の学年の準備をする大切な時期でもあります。

6年生の5名のみなさんさんは、4月から新月中学校に進みます。1年生から5年生の皆さんは一つずつ学年が上がります。今のうちから心の準備をしておきましょう。新しい年を迎えて、皆さんはどんな目標を立てたでしょうか。

目標を達成するために、皆さんに心がけてほしいことを3つ話します。

一つ目は、「笑顔」で取り組むことです。校長先生は皆さんの笑顔を見erるとうれしくなります。笑顔は人の心を明るく、前向きにしてくれます。

二つ目は、「健康」です。まだまだコロナの感染症にならないよう注意しなければなりません。例年流行するインフルエンザにも気をつけなければなりません。ウイルスを体に入れないためには、手洗い、うがい、マスクを付けるなど、これからもしっかり行ってほしいと思います。そして、元気に学校生活を送ってほしいと思います。

三つ目は、「進んで物事に取り組む」ことです。進んでものごとに取り組むことで、大きな成果を得ることができます。例に挙げれば鹿踊りです。6月に比べてとても上手になり、1年生から6年生までまとまった見応えのある演技ができるようになりました。これは、自分から進んで練習に取り組んできた成果です。

一人一人が「笑顔」で、お互いに「健康」で、そして「進んで物事に取り組む」ことができたなら、みなさんの目標も達成し、きっと「楽しい学校」が実現できると思います。

さあ、今日から始まる3学期、この3つを心がけ、目標に向かって頑張りましょう。

お話を終わります。



今年も菅原妙子さんを講師に中学年で繭細工づくりを行いました(今年の干支丑)